

令和 5 年度

普通会計決算認定特別委員会説明資料

農林水産部

目 次

I	令和5年度農林水産部主要施策の成果の概要	3
II	主要事業の内容及び成果	10
III	歳入歳出決算額	32
1	一般会計決算額	32
(1)	歳入決算額	32
(2)	歳出決算額	33
2	特別会計決算額	34
(1)	歳入決算額	34
(2)	歳出決算額	35

I 令和5年度農林水産部主要施策の成果の概要

コロナ禍による価値観や消費行動の変容、気候変動に伴い激甚化する自然災害等の危機事象、農林水産業従事者の高齢化及び減少に加え、ロシアのウクライナ侵攻を背景とした不安定な国際情勢、脱炭素化への時代の要請などの本県農林水産業を取り巻く課題に対応するため、「GX」・「DX」を推進エンジンとして最大限活用し、徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画に沿った「ニューノーマル（新しい日常）への対応」、「危機事象に備えた『食料生産・供給体制』の強化」、「『スマート農林水産業』の実装と労働力確保」、「サステイナブル（持続可能）な農林水産業の実現」の4つの柱による「もうかる農林水産業」と「魅力あふれる農山漁村」の実現とともに、環境負荷低減を図る「徳島県みどりの食料システム戦略基本計画」の具現化により、「持続可能な農林水産業」の実現に取り組んだ。

1 ニューノーマル(新しい日常)への対応

(1)「しなやかな」とくしまブランドの展開

もうかる農林水産業の実現を図るため、「TurnTable」を拠点とした首都圏飲食店等への販路開拓支援や、大阪・関西万博を見据え、「食べに行きたい徳島」の実現に向け「徳島の食」の魅力を発信するとともに、とくしまブランド推進機構と連携し、効率的な物流システムの構築や新たな地域への販路開拓など、消費者ニーズに対応した「しなやかな販売戦略」を推進し、徳島県産品の認知度向上や販売拡大に取り組んだ。

(とくしまブランド推進課)

(2)選ばれる6次産業化の促進

県産農林水産物の新たな付加価値を生み出し、消費拡大や需要創出、所得向上を図るため、6次産業化や農工商連携に向け、生産者と食品加工事業者、流通関係事業者など、多様な関係者のネットワーク構築を促進するとともに、商品開発や展示商談会での販路開拓等の支援に取り組んだ。

また、オープンラボ機能を備える「六次産業化研究施設」の活用を促進し、生産者や大学生等による加工品の開発を支援するとともに、6次産業化人材の育成を図った。

(とくしまブランド推進課、農林水産総合技術支援センター)

(3)戦略的な海外展開

拡大する世界の食市場に応え、もうかる農林水産業の実現を図るため、アジアを中心に本県が強みを持つ品目の各地域の状況に応じたPR展開による販路拡大や越境ECサイトを活用した販売チャネルの多様化、ハラル、欧州など新市場の開拓、また、相手先国の検疫に対応した産地づくりやHACCP等の認証取得に必要なハード整備への支援、海外展開に意欲的な生産者の発掘・育成を実施した。

(とくしまブランド推進課、林業振興課、農林水産総合技術支援センター)

(4) 移住定住に向けた都市農村交流の促進

農山漁村が持つ豊かな自然や食を活用し、活性化を図るため、地域資源である「むらのたから」の認知度向上に努めるとともに、農林漁家民宿のスキルアップと魅力発信による誘客や里山のにぎわい創出を図る「かんきつテラス徳島」を活用した大学生のフィールドワーク活動への支援、小中高校生がかんきつアカデミーを体験できる機会の創出、企業・大学・NPO法人等の「農山漁村（ふるさと）協働パートナー」と「農山漁村の地域住民」との農作業等の協働活動を通じて、都市と農山漁村の交流を促進した。

(鳥獣対策・里山振興課、農林水産総合技術支援センター、農山漁村振興課)

2 危機事象に備えた「食料生産・供給体制」の強化

(1) 自然災害や家畜伝染病等への対応

① 南海トラフ・直下型地震への対応

「『とくしまー0作戦』地震対策行動計画（徳島県南海トラフ・活断層地震対策行動計画）」に基づき、海岸保全施設の調査、補強・整備や農業用ため池の整備、農業水利施設の耐震対策、農林道の整備による緊急輸送ネットワークの確保対策等を推進した。

また、南海トラフ巨大地震による津波や内陸部の直下型地震により甚大な被害が想定される農地や土地改良施設などにおいて、被災後、速やかに営農を再開できるよう「農業版BCP（業務継続計画）」の実効性の向上を図るとともに、復旧・復興の迅速化に向けて、「津波浸水」や「中央構造線・直下型地震」、「山地災害」、「洪水浸水」に関連する地域の地籍調査を一層促進した。

さらに、大規模災害に備えた事前復興を図るため、「県漁業版BCP」に基づき、関係市町や漁協等と連携し、海上避難訓練等により漁業者の安全確保対策の向上を図るとともに、漁業関係者が作成した「漁協版BCP」に基づいた自主的な訓練を促進した。

(水産振興課、農山漁村振興課、生産基盤課、森林土木・保全課)

② 自然災害への対応

荒廃林地の早期復旧はもとより、頻発化・激甚化する豪雨災害をはじめ、流木、地すべり、高潮、津波などによる被害の防止・軽減を図るため、治山施設や農業用ため池、海岸保全施設を補強・整備するほか、倒木被害の未然防止を図る事前伐採を行うとともに、危険箇所の日点検等の推進や「徳島ため池管理支援センター」を活用した維持管理の強化、流域治水に資するため池の活用及び田んぼダムの導入促進など、ハード・ソフト両面からの計画的な防災・減災対策により、農山漁村地域の強靱化に取り組んだ。

(生産基盤課、森林土木・保全課)

③ 家畜伝染病への対応

高病原性鳥インフルエンザ、豚熱などの家畜伝染病の発生予防・まん延防止を図るため、定期的な情報収集やサーベイランス、防疫資材の備蓄、防疫演習の実施に加え、家畜保健衛生所の検査体制強化と老朽化対策の一体的・効果的な推進など、危機管理体制を強化した。

(畜産振興課)

(2) 強靱な生産基盤の整備

① 農業生産基盤の整備及び保全

経営規模の拡大や水管理の省力化による高収益作物の増産、品質向上など収益性の高い経営を実現するため、ほ場の整備、農業用水のパイプライン化など、農業生産基盤の整備を推進するとともに、安定的な農業経営を支えるため、老朽化した農業水利施設等の機能診断に基づく農業生産基盤の保全に努めた。

また、農業生産の基盤である農地の利用の効率化・高度化及び有効活用を図るため、「農地中間管理機構」との連携により、各地区で定める「地域計画」の策定を支援するとともに、規模拡大を志向する多様な担い手への農地の集積を促進した。

(農林水産政策課、生産基盤課)

② 林業生産基盤の整備及び保全

森林情報の3次元化をはじめとしたICTの活用による路網計画や施業計画の省力化、森林環境譲与税を活用した「新たな森林管理システム」を市町村が円滑に推進するための支援を行ったほか、森林境界の明確化や施業地の集約化を促進するとともに、生産性の向上と森林の適切な管理に不可欠な林道・林業専用道・森林作業道等の林内路網ネットワークの整備を推進した。

また、県による水資源及び県土の保全機能の高い重要な森林の取得を推進するとともに、「保安林」及び「徳島県豊かな森林を守る条例」に基づく「県版保安林」の指定を拡大し、水源のかん養や土砂災害の防備など森林が持つ公益的機能の維持増進や、無秩序な開発の防止など森林の保全に努めた。

(林業振興課、森林土木・保全課)

③ 水産基盤の整備及び保全

生産性が高く安全で快適な漁村づくりを行うため、漁港及び海岸保全施設の補強・整備を計画的に推進した。

さらに、沿岸域の水産資源の維持・増大と環境に与える負荷の軽減のため、水産生物の産卵場や幼稚魚の成育場として重要な役割を果たす藻場の造成を推進するとともに、漁場環境の保全に向けた海ごみ除去を支援した。

(生産基盤課)

(3) 水田・園芸農業の振興

① 水田農業の振興

活力ある多様な水田農業の実現を図るため、担い手への農地の集積・集約、規模拡大に向けたスマート農業技術を活用した省力化技術の導入支援、「徳島県みどりの食料システム戦略基本計画」に資する有機栽培や特別栽培の推進、県産酒米を100%使用した地酒ブランド「阿波十割」の需要拡大による酒米の生産振興など、需要に応じた米づくりを推進した。

また、食料自給率の向上による食料安全保障につなげるとともに経営の安定化を図るため、耕畜連携の強化による飼料用米の地域内流通、WCS用稲（稲発酵粗飼料）、輸出用米、加工用米等の生産拡大などを支援した。

(みどり戦略推進課、農林水産総合技術支援センター、農山漁村振興課)

②園芸農業の振興

本県の農業を支える強靱な園芸産地を創出するため、主要品目ごとの栽培技術、出荷調整作業及び物流に係る課題解決の実践や広域的な産地間連携の推進により、園芸品目の育成・強化を図った。

また、「とくしまブランド推進機構」及び農業関係機関と連携し、消費者ニーズを踏まえ、野菜・果樹・花きの新品目・新作型の導入、新たな生産技術の普及を図り、マーケットイン型産地の形成を推進した。

さらに、施設園芸において、ハウスの多重被覆や温度管理技術の導入など、化石燃料の使用量削減に資する取組を促進した。

(みどり戦略推進課、農林水産総合技術支援センター)

(4)畜産業の振興

本県畜産経営の安定化を図るため、自給飼料の増産・利用拡大をはじめとする生産コスト低減の取組や、畜産クラスター事業による地域連携、さらにはスマート畜産の促進、経営安定制度の円滑な運用など、中小・家族経営も含めた生産基盤の強化に取り組んだ。

また、大阪・関西万博や海外展開を見据えた県産畜産ブランド力を強化するため、新たな流通・販売スタイルの確立とともに、環境制御型の新たな原種鶏・種鶏の鶏舎整備や「畜産GAP」や「農場HACCP」の認証取得の支援に取り組んだ。

(畜産振興課、農林水産総合技術支援センター)

(5)林業・木材産業の振興

本格的な利用期を迎えた森林資源を背景に、県産材の更なる増産と消費拡大による林業の成長産業化を実現するため、「航空レーザ測量データの解析」に取り組み、高精度森林資源データを利活用した効率的な路網整備や搬出間伐につなげるほか、主伐にも対応した先進林業機械の導入や大径材をまるごと利用できる木材加工施設の整備、木質バイオマスの供給体制の整備を支援するなど、林業・木材産業の振興に取り組んだ。

また、展示効果の高い建築物への県産材利用を促進するとともに、首都圏等に加え大阪・関西万博における活用を通じた販路開拓や、木材利用に秀でた建築士の育成など、更なる県産材の需要拡大を図った。

(林業振興課、農林水産総合技術支援センター)

(6)水産業の振興

本県水産業の持続可能な成長の実現を図るため、水産資源の持続的な利用と増産に向けた資源管理型漁業や栽培漁業、藻類養殖漁場の貧栄養化に対応する効果的な施肥技術の確立や養殖業の成長産業化に向けた新たな養殖魚種の導入を推進するとともに、漁協等が行う共同利用施設や機器の整備など、漁業生産力を強化する取組を支援した。

また、競争力の高い産地づくりを目指し、「はも」や「鳴門わかめ」をはじめとする県産水産物の更なるブランド力向上や消費拡大に向けた食育・魚食普及等の取組を推進した。

(水産振興課、漁業管理調整課、農林水産総合技術支援センター)

3 「スマート農林水産業」の実装と労働力確保

(1) スマート農林水産業の実装

労働力不足の解消や生産性の飛躍的な向上と「徳島県みどりの食料システム戦略基本計画」の実現を図るため、産学官連携拠点「サイエンスゾーン」を核としたオープンイノベーションにより、AIを用いた画像解析やロボット等の未来技術を活用し、害虫の早期発見・適期防除や収穫作業の自動化による超省力化を可能とするスマート技術の研究開発と現場実装を推進した。

(水産振興課、農林水産総合技術支援センター)

(2) 農業・畜産業の多様な人材育成・確保

「アグリビジネスアカデミー」において、現場のニーズや新たな技術習得に対応したリカレント研修体系の強化を図り、実践力の高い人材を育成するとともに、「農業大学校」において、リモート授業やITセンサー・ドローンを活用した先端技術に関する実習を充実し、スマート農業技術を駆使できる次世代の担い手を育成した。

また、就農希望者の研修や経営開始時の負担を軽減する資金に加え、経営発展のための機械施設導入やインターンシップの充実、農業法人等への技術習得研修の支援を通じて、新規就農者の育成・確保に努めた。

さらに、農福連携や外国人の雇用促進、アクティブシニアが農業現場へ就農する仕組みや副業希望者等が短期間から農業に従事できる環境の構築など、幅広い人材を活用した労働力確保の支援に取り組んだ。

(農林水産総合技術支援センター)

(3) 林業・木材産業の多様な人材育成・確保

「とくしま林業アカデミー」において研修生の確保を図るほか、スマート林業人材の育成と労働安全対策の強化に向け、新たに「林業人材DXセンター」を開設し、研修内容を充実させるとともに、指導者の育成や現場技能者に対するリカレント教育の充実を図った。

また、フォレストキャンパスを活用した小中学生向けの出前授業や高校生に対する実践研修の実施、学生、女性及びシニアなどの森林整備を担う多様な人材の育成に加え、「とくしま林業アカデミー」を体感できる機会を創出するなど、林業就業者の裾野を広げる取組を進めた。

さらに、フォレストサイエンスゾーンでの実践的な技術研修や資格取得を支援し、就業者の技術力向上を図った。

(林業振興課)

(4) 水産業の多様な人材育成・確保

誰もが徳島の漁業を学べる「とくしま漁業アカデミー」において、マリンサイエンスゾーンが有する人的・物的資源を活用しながら、浜を支える意欲ある担い手の育成・確保に取り組んだ。

また、「とくしま漁業アカデミー」を体感できる漁業体験会の開催や、SNSを活用した漁村生活の情報発信などを通じ、本県漁業や水産物の魅力を若年層をはじめ広く周知するとともに、経営の不安定な就業初期の青年漁業者の定着に取り組む漁協に対する支援や、研修動画の配信を通じたオンデマンド授業による効果的なリカレント教育の実施により、新規就業者の定着を図った。

(水産振興課)

4 「サステイナブル(持続可能)」な農林水産業の実現

(1) 地球温暖化対策(適応・緩和)

地球温暖化による気温や水温、収穫適期の変化に適応するため、果樹や作物、藻類等の高温耐性品種等の育成と高品質生産技術の確立及び需用拡大を推進した。

あわせて、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を削減するため、化学肥料、化学農業、化石燃料の使用量を低減する農業者を支援するとともに、二酸化炭素の吸収源となる森林を健全に育成するための間伐、再造林などの森林整備、海藻や藻場が持つ二酸化炭素吸収機能（ブルーカーボン）の評価手法の開発と藻場の効率的な形成・拡大技術の開発をはじめとする「緩和策」に取り組むとともに、気候変動を迎え撃つ「強靱でしなやかな農林水産業」の実現を図った。

また、台風や集中豪雨による災害の未然防止のため、農業水利施設、農業用ため池、海岸保全施設及び治山施設の整備・保全を推進した。

(みどり戦略推進課、林業振興課、水産振興課、農林水産総合技術支援センター、生産基盤課、森林土木・保全課)

(2) 鳥獣による被害の防止

野生鳥獣による農作物等の被害対策をより効果的に進めるため、集落で取り組む侵入防止柵の整備や保守点検、地域における指導的役割を担う人材の育成など、集落ぐるみで実施する防護対策を推進するとともに、若手を中心とした多様な狩猟者の育成・確保、関係機関との連携による広域捕獲やI o Tを活用した生息状況等の調査と「見える化」を進め、捕獲対策を強化した。

また、捕獲したシカやイノシシの更なる利用を促進し、消費拡大に繋げるため、機能性を活かしたアスリート食の開発を進めるなど、捕獲から消費まで一貫した総合的な対策を推進した。

(鳥獣対策・里山振興課)

(3) 食育・木育と地産地消の推進

野菜摂取量アップなどによる健全な食生活と持続可能な農林水産業を支える消費者育成を推進するため、料理コンクールを開催するとともに、学校給食などを通じた地域の食文化や食の循環、「エシカル農業」に対する理解醸成に取り組んだ。

さらに、県産材の魅力を発信するため、あらゆる世代の県民が「徳島の木の良さ」を再認識できる木育推進拠点「徳島木のおもちゃ美術館」を核として、木育イベントの開催や企業・団体向けの木育研修の実施、また、県内木育広場のリニューアルにより、県下に「徳島ならではの」「木づかい県民運動」の拡大を図った。

(みどり戦略推進課、林業振興課)

(4) 地域で育む農山漁村づくり

集落ぐるみで地域農業を支え、耕作放棄の防止や多面的機能の確保を図るため、「日本型直接支払制度」を効果的に活用するとともに、農用地保全、地域資源活用及び生活支援等に取り組む農村型地域運営組織（農村RMO）の形成支援、地域の実情に応じた生産基盤と生活環境の一体的な整備を行い、魅力ある地域づくりを推進した。

また、「地域の宝・棚田」が恒久的に維持されるよう、関係機関と連携した「棚田ネットワーク」を活用し、地域の振興施策を推進した。

さらに、「土に触れ・体感し・学べる」土育（つちいく）を展開し、地域の守り手となる森林土木の新たな担い手育成を推進した。

加えて、徳島の林道に関する交通規制情報や林道マップなどを発信する「とくしま林道ナビ」を充実させ、多様化する利用者のニーズにワンストップで応えることで林道利用の推進を図り、中山間地域の活性化につなげた。

（鳥獣対策・里山振興課、農山漁村振興課、森林土木・保全課）

(5) 安全・安心な食料の安定的供給

食品の安全性向上、環境の保全、労働安全の確保等に資する農業生産工程管理「GAP」の実践や認証の取得を促進するとともに、農薬の適正使用の徹底に向けた立入検査や啓発活動、放射性物質検査等を実施した。

また、「徳島県みどりの食料システム戦略基本計画」の実現に向けて、有機質資源の循環利用や化学肥料・化学農薬の使用量低減を推進した。

（農林水産政策課、みどり戦略推進課、農林水産総合技術支援センター）

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 ニューノーマル (新しい日常) への対応		
(1) 「しなやかな」 とくしまブラン ドの展開	阿波ふうど機動力発揮ブ ランディング事業	県内外で県産品の認知度向上と販路拡大を加速するため、2台のPR車両の機動力と調理能力を活かした、徳島ならではのプロ モーション活動を展開した。 (14,985)
	阿波ふうど高付加価値化 事業	「とくしま特選ブランド」のプレミアム感を高め、販路拡大を促進することによる事業者の経営安定を図るため、商品の更なる ブラッシュアップや新たな販路拡大を推進した。 (3,435)
	阿波ふうどスペシャリス ト事業	徳島の食「阿波ふうど」の魅力や価値に共感するファンを全国に拡げるため、情報発信サポーターである「阿波ふうどスペシャ リスト」の拡大や積極的な活動と交流を促進した。 (2,336)
	ターンテーブル魅力発信 事業	首都圏における「食」をテーマとした徳島の魅力発信や県産品の販路拡大を図るため、施設管理者から建物を借受し、「情報発 信と交流の拠点」として、施設の安定的かつ効果的な運営を推進した。 (47,509)
	「とくしまブランド推進 機構」展開事業	マーケットイン型の産地づくりと県産品の販路拡大を加速するため、生産・流通・販売をトータルサポートする「とくしまブラ ンド推進機構」の安定的な活動を推進した。 (31,100)
	とくしまブランド新商流 構築事業	首都圏実需者と県内生産者等とのマッチングやテストマーケティング等により県産品の販路拡大を支援するとともに、ターン テーブルを核とした県産食材を活用した新たなメニュー開発や食材フェアの実施による県産食材の魅力発信に取り組んだ。 (24,000)
	とくしまブランド新しい 物流促進事業	2024年問題に関する情報共有の場として「農林水産物販売戦略シンポジウム」を開催するとともに、効率的な輸送方法の確立に 向けて、3JA連携によるブロッコリーの共同出荷試験への支援を行った。 (2,438)
	万博に向けた「徳島の 食」利用強化・拡大事業	大阪・関西万博に向けて、本県への新たな人の流れの創出を図るため、「徳島食の博覧会」の開催や食の多様化への対応、他県 アンテナショップとの連携PR、新グルメの開発など、「徳島の食」の魅力発信に取り組んだ。 (55,069)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
(2) 選ばれる6次産業化の促進	徳島の食ブランド飛躍向上事業	徳島が誇る「県産食材」のブランド力の飛躍・向上を図るため、「食」の魅力を最大化し、ブランド力、発信力を持つ企業や市場関係者と連携する効果的なプロモーションを展開し、県産品の知名度向上と新たな販路拡大に取り組んだ。 (10,918)
	徳島魅力発信・販路拡大事業	首都圏の人口密集地域での県産食材の魅力発信を行うとともに、県内外の発信効果の高いイベントでの県産食材の露出機会を創出し、認知度向上・販路拡大を推進した。 (6,550)
	とくしま農山漁村発イノベーション対策事業	6次産業化に取り組む農林漁業者等の商品開発や販路開拓を支援するため、相談窓口の設置、専門家の派遣及び人材育成研修を行った。 (5,870)
(3) 戦略的な海外展開	6次産業化商品の販路開拓協働事業	6次産業化に取り組む農林漁業者等の商品開発や販路開拓を支援するため、県、市町村、金融機関、関係団体等で組織する「とくしま六次産業化推進連携協議会」により、首都圏における展示商談会への出展支援や異業種交流会の開催等を行った。 (10,947)
	農山漁村未来創造事業	グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組を支援した。 (11,865)
	とくしまブランド海外プロモーション事業	これまでの取組により獲得した東・東南アジア等への販売ルートについて、小売り向けを中心とした、プロモーションやバイヤーの招聘によるマッチングを実施したほか、新たな輸出先として米国でのプロモーションや市場調査を行った。 (24,939)
	検疫クリア！輸出型園地「倍増」事業	輸出相手国の検疫条件等に対応できる輸出型園地の拡大を図るため、「ゆず」「すだち」等の植物検疫等に適合する園地を育成した。 (2,200)
	とくしま輸出バリューチェーン構築強化事業	輸出の段階に応じた生産者や事業者の課題の解決を支援するため、「とくしまブランド」の「初期輸出」、「輸出の定着・連携」、「国際的認証資格の取得」等を進める生産者や事業者等に対する支援を行った。 (8,000)
	農畜水産物海外輸出ネットワーク構築事業	生産者や事業者から寄せられる輸出に関する「相談や提案」に対して、「輸出サポートセンター」等と連携し、バイヤーとのマッチングや輸出手続などの実践的な支援を行った。 (659)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
(4) 移住定住に向けた都市農村交流の促進	徳島農林水産物等の輸出力強化事業	意欲ある事業者の海外展開を後押しするため、H A C C P の認証取得に必要な施設、機器のハード整備の支援を行った。 (139,746)
	徳島マーケット・イノベーション推進事業	欧州に向けたかんきつ加工品等のプロモーションを実施したほか、ハラール市場の開拓のため、ムスリム圏でのプロモーションや、事業者に対しハラール認証取得の支援を行った。 (8,300)
	食品産業の知財を守る！とくしまブランドディフェンス事業	国際的な知的財産に係る制度や注意点等を学ぶセミナーを開催するとともに、国際商標・意匠に係る「相談窓口」を設置し、海外展開に取り組む県内事業者・生産者を支援した。 (2,911)
	攻めの「阿波ふうど」世界展開！輸出拡大事業	「オール徳島」での新規輸出ルートの開拓として、県産食材の魅力をPRするイベントや現地小売店等での販売プロモーションを実施した。 (10,900)
	県産材販売力強化事業	台湾に整備された県産材による木質モデル空間において、セミナーやワークショップ等を開催し、県産材の魅力を発信した。 (4,993)
	新たな「とくしま農林漁家民宿」創出事業	ポストコロナの旅行需要の呼び込みを促進するため、「とくしま農林漁家民宿」のスキルアップを図るとともに、「とくしま農林漁家民宿」及び農山漁村地域の魅力を効果的に発信した。 (2,520)
	次代へ繋ぐ徳島かんきつ丸ごと体験事業	かんきつ人材の育成・にぎわい交流拠点である「かんきつテラス徳島」の更なる農村地域の活性化を図るため、大学のゼミ合宿やフィールドワークでの利用を推進するとともに、小中高等学校等へかんきつ類の知識等を深める体験会を実施することで、未来の担い手育成に取り組んだ。 (1,759)
未来へ「つなぐ！」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	農山漁村地域が持つ魅力や価値の向上を図り、関係人口を拡大することで、元気な農山漁村地域を実現するため、企業・大学等との協働活動を促進するとともに、農地等の保全、農山漁村地域の活性化や棚田地域における棚田の保全・活用の取組等を支援した。 (11,320)	

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 危機事象に備えた「食料生産・供給体制」の強化		
(1) 自然災害や家畜伝染病等への対応		
① 南海トラフ・直下型地震への対応	水産業協同組合指導費	沿海漁業協同組合等におけるBCP策定を支援したほか、財務調査、経営計画の策定指導や、事業統合、合併等への取組を支援した。 (1,331)
	地籍調査事業	大規模自然災害が発生した場合の「被災後の早期復旧・復興」に対応するため、「防災・減災対策の重点エリア」である「津波浸水地域」、「中央構造線・直下型地震地域」、「山地災害地域」、「洪水浸水地域」における地籍調査を促進した。 (1,128,223)
	農業版BCP現場力強化事業	大規模災害からの速やかな営農再開を目的とした農業版BCPの事前対策である土地改良区BCPの策定を支援するとともに、実効性向上のための実地訓練を行い、土地改良区における非常時現場対応力の向上を図った。 (874)
	広域営農団地農道整備事業	農作物や農業用資機材の効率的な運搬と農村地域の生活環境の改善に資するとともに、災害発生時の孤立集落発生の防止や、緊急輸送路を補完する農道整備を行った。 (503,468)
	老朽ため池等整備事業	農地及び農業用施設に係る災害の発生を未然に防止するため、老朽化した農業用ため池等の整備を実施した。 (711,628)
	震災対策農業水利施設整備事業	南海トラフ巨大地震等に備え、災害を未然に防止するため、農業用ため池等の土地改良施設の現状を確認し、施設の地震耐性評価・豪雨耐性評価を実施した。 (167,069)
	漁港海岸保全施設整備事業	漁港海岸における「地震・津波」対策として、地域住民の生命を守るため「避難時間の確保」に必要な海岸保全施設の整備に着手するとともに、「老朽化」対策として護岸修繕工事を行った。 (203,483)
	治山事業	中山間地域の生活環境の保全を図るため、山地に起因する災害の早期復旧や未然防止を目的とした対策を計画的に実施するとともに、荒廃森林（保安林）の機能回復・強化を目的とした森林整備を実施した。 (2,648,974)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
② 自然災害への対応	森林基盤整備事業	<p>森林の適正管理・林業の生産性の向上を図るため、林道・林業専用道の整備を推進するとともに、災害時における緊急輸送路を補完する機能を併せ持つ林道の整備を推進した。また、林道利用者のニーズに対応するため、「とくしま林道ナビ」の掲載情報の充実を図った。</p> <p>(2,518,621)</p>
	経営体育成基盤整備事業	<p>農業の生産性の向上を図り競争力を高めるため、地域の実情に応じたきめ細やかな農業基盤の整備を推進するとともに、農地中間管理機構と連携し、担い手への農地集積を促進することにより、次代の農業生産を担う経営体の育成を行った。</p> <p>(769,249)</p>
	耕地地すべり防止事業	<p>農林水産省農村振興局所管の地すべり防止区域における地すべり被害を防止・軽減するため、各種の地すべり対策工事を実施した。</p> <p>(562,128)</p>
	老朽ため池等整備事業 (再掲)	<p>農地及び農業用施設に係る災害の発生を未然に防止するため、老朽化した農業用ため池等の整備を実施した。</p> <p>(711,628)</p>
	漁港海岸保全施設整備事業 (再掲)	<p>漁港海岸における「地震・津波」対策として、地域住民の生命を守るため「避難時間の確保」に必要な海岸保全施設の整備に着手するとともに、「老朽化」対策として護岸修繕工事を行った。</p> <p>(203,483)</p>
	治山事業 (再掲)	<p>中山間地域の生活環境の保全を図るため、台風・豪雨等による荒廃林地の復旧、山地災害や流木被害の予防、水資源確保のための森林整備を実施した。また、併せて危険箇所や施設の調査・点検パトロールを実施した。</p> <p>(2,648,974)</p>
	林野地すべり防止事業	<p>林野庁所管の地すべり防止区域における地すべり被害を防止・軽減するため、各種の地すべり対策工事を実施した。</p> <p>(354,219)</p>
	県単独治山事業	<p>住民の生命・財産を守るため、国庫補助の対象とならない小規模な荒廃森林の復旧整備工事を実施した。</p> <p>(73,968)</p>
	治山流木緊急対策事業	<p>流木による被害拡大を防止するため、人家等重要な保全対象の上流にある溪流内の不安定な樹木の除去を行った。</p> <p>(10,783)</p>
	国庫補助関連事業	<p>治山施設の長寿命化対策として、国庫補助の対象とならない小規模な機能強化工事を実施した。</p> <p>(51,698)</p>

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
③ 家畜伝染病への対応	治山緊急浚渫事業	治山ダムに異常堆積した不安定土砂が、下流の保全対象に被害を及ぼすおそれがあるため、緊急的に土砂の除去を実施した。 (8,079)
	「森林（もり）の番人」ステップアップ事業	森林の適正な管理を推進するため、地域に根ざした「森林（もり）の番人」の認定と資質の向上を図り、監視・情報収集体制を強化した。 (3,410)
	徳島県産業動物獣医療安定確保推進事業	獣医療法に基づき本県産業動物獣医療の安定的確保を図るため、家畜保健衛生所職員の診療業務に係る技術習得等診療体制を整備した。 (1,519)
	徳島県獣医師職員確保・修学資金給付事業	本県の家畜防疫対策や食の安全性確保対策等、重要な役割を担う獣医師職員を確保するため、獣医学生に対する修学資金の貸与を実施した。 (1,602)
	家畜伝染病予防事業	高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の発生予防及びまん延を防止するため、家畜伝染病予防法に基づき検査等を実施した。 また、令和6年2月に香川県で発生した高病原性鳥インフルエンザを受け、香川県との県境に消毒ポイントを設置し、県内へのウイルスの侵入を防ぐための防疫対応を実施した。 (38,811)
	病性鑑定機能強化事業	家畜伝染病等による経済的損失を最小限に抑えるため、各種疾病を迅速かつ的確に診断するとともに、今後の発生予防など家畜防疫対策の指標とした。 (6,388)
	牛海綿状脳症検査事業	牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、BSEの発生予防及びまん延防止を図り、安全な牛肉を供給するため、96か月齢以上の死亡牛全頭についてBSE検査を実施した。 (4,910)
	海外悪性伝染病防疫対策強化事業	海外悪性伝染病の侵入とまん延を防止するため、国と連携した検疫キャンペーンの拡充などの水際対策や野生鳥獣監視対策を強化するとともに、発生時の即応体制を強化した。 (4,268)
家畜保健衛生所機能強化事業	豚熱や鳥インフルエンザなどの家畜防疫対策を徹底するため、検査体制の維持・拡充を図り、家畜保健衛生所の機能を強化した。 (8,728)	

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
(2) 強靱な生産基盤の整備	① 農業生産基盤の整備及び保全	農地利用の効率化・高度化による生産性の向上や農業経営の安定化につなげるため、「農地中間管理機構」による農地集積を支援するとともに、機構に農地を貸し付けた農業者に対して、機構集積協力金の支援を行った。 (92,193)
	地域計画策定推進緊急対策事業	地域の農業者等の話合いに基づき、目指すべき将来の農地利用の姿を明確にする「地域計画」を策定する市町村の取組みを支援した。 (8,860)
	農地利用効率化等支援交付金	地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿の実現に向けて、地域の農業を担う意欲ある経営体が生産の効率化等、必要な農業用機械等の導入を支援した。 (4,557)
	担い手確保・経営強化支援事業	意欲ある農業経営体を育成するため、農地中間管理機構を活用している地区等において、売上高の拡大や経営コストの縮減などに取り組む地域の担い手が、融資を受けて農業経営の発展に取り組む場合に必要な機械・施設の導入を支援した。 (23,067)
	経営体育成基盤整備事業(再掲)	農業の生産性の向上を図り競争力を高めるため、地域の実情に応じたきめ細やかな農業基盤の整備を推進するとともに、農地中間管理機構と連携し、担い手への農地集積を促進することにより、次代の農業生産を担う経営体の育成を行った。 (769,249)
	広域営農団地農道整備事業(再掲)	農作物や農業用資機材の効率的な運搬と農村地域の生活環境の改善に資するとともに、災害発生時の孤立集落発生の防止や、緊急輸送路を補完する農道整備を行った。 (503,468)
	地盤沈下対策事業	地下水の汲み上げ等に起因した地盤沈下により、機能低下した用排水施設の機能回復を図るため、農業用排水施設の整備を実施した。 (434,231)
	国営付帯県営農地防災事業	国営総合農地防災事業と一体で事業効果を発現させるため、関連事業として農業用排水施設等の整備を実施した。 (285,265)
	県営かんがい排水事業	農業生産の基礎となる農業用水や排水等の水利条件を整備し、水利用の安定と合理化を図るため、排水施設の整備を実施した。 (163,108)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	農業水利施設保全対策事業	既存の基幹的農業水利施設について、施設の長寿命化やライフサイクルコストの低減を図るため、施設の補修等を実施した。 (1,919,914)
	農業水利施設保全合理化事業	既存の農業水利施設について、水利用・水管理の効率化・省力化、施設の安全性の向上を図るため、機能診断・機能保全計画策定を実施した。 (116,745)
	吉野川下流域地区国営総合農地防災事業 (水資源機構吉野川下流域用水事業)	吉野川下流域3市5町における農業用水の水質悪化、地下水の塩水化、農業水利施設の機能低下を改善し、良質な農業用水を安定的・効率的に供給するため、取水施設の統合(水源転換)、幹線用水路等の整備を行う国営総合農地防災事業(令和6年3月に吉野川下流域用水事業へ事業承継)の促進を図った。 (444,435)
	那賀川地区国営総合農地防災事業	那賀川下流域2市における農業用水の水質保全、農業水利施設の老朽化を改善し、良質な農業用水を安定的・効率的に供給するため、幹支線用水路、取水堰等の整備を行う国営総合農地防災事業の促進を図った。 (437,736)
	吉野川北岸二期地区国営かんがい排水事業	吉野川北岸4市3町における農業水利施設の老朽化の改善と耐震化整備を行い、良質な農業用水を安定的・効率的に供給するため、調整池や用水路等の整備を行う国営かんがい排水事業の促進を図った。 (90,699)
② 林業生産基盤の整備及び保全	森林環境保全整備事業	森林の持つ多面的機能の維持・増進や、生物多様性の保全を図るため、施業の集約化や路網整備などによる低コスト化を進めつつ、計画的な森林整備を実施した。 (1,113,774)
	とくしま「新たな森林管理システム」推進事業	平成30年5月に制定された「森林経営管理法」に基づき、森林資源の適正な管理と流動化を図るため、森林所有者や林業事業者などのニーズを一元管理する「新たな森林管理システム」の構築に向けた取組を推進した。 (14,097)
	森林基盤整備事業(再掲)	森林の適正管理・林業の生産性の向上を図るため、林道・林業専用道の整備を推進するとともに、災害時における緊急輸送路を補完する機能を併せ持つ林道の整備を推進した。また、林道利用者のニーズに対応するため、「とくしま林道ナビ」の掲載情報の充実を図った。 (2,518,621)
	県単独林道事業	林道の機能性や利便性の向上等を図るため、国庫補助の対象とならない林道の開設、改良、舗装等の助成及び県営による施設整備を実施した。 (72,857)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果	
③ 水産基盤の整備及び保全	保安林整備管理事業	森林の適正管理や森林の持つ公益的機能の維持増進を図るため、保安林を計画的に指定するとともに、適正な維持管理を実施した。 (6,591)	
	「とくしま県版保安林」整備管理事業	水源地域の森林の公益的機能を高度に発揮するため、「徳島県豊かな森林を守る条例」に基づく「とくしま県版保安林」に指定し、公的管理を推進した。 (2,343)	
	広域漁港整備事業	水産業の健全な発展と水産物の安定供給のため、高度衛生荷さばき所の実施設計及び前面岸壁の耐震化のほか、事前復興対策として防波堤の機能強化を図った。 (695,315)	
	水産物供給基盤機能保全事業	漁港の長寿命化対策のため、岸壁修繕工事や、防波堤修繕工事を行った。また、機能強化対策として防波堤の耐震化工事を行った。 (576,898)	
	とくしま海岸漂着物地域対策推進事業	底引き網への混入、漁港内での漂着や滞留など、漁業活動の大きな障害である「海ごみ」の除去（回収、処分）を支援した。 (2,843)	
(3) 水田・園芸農業の振興	水域環境保全創造事業	沿岸漁業の安定的な発展と水産物の供給の増大に寄与するため、藻場造成を実施した。 (92,150)	
	① 水田農業の振興	農山漁村未来創造事業（再掲）	グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組を支援した。 (47,873)
	経営所得安定対策等推進事業	経営所得安定対策の円滑な実施を図るため、地域農業再生協議会等が行う制度周知、作付面積の確認、水田台帳の管理業務等を支援した。 (56,770)	
	県産米安定生産・販売確立事業	「あきさかり」の消費の拡大・定着化を図るため、県内外でのPR活動を展開するとともに、地酒ブランド「阿波十割」の消費拡大による酒米産地の振興を推進した。 (3,101)	

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
② 園芸農業の振興	農業水利施設・エネルギー価格高騰支援事業	原油等燃料費の上昇による電気料金の高騰が長期化しており、農業用水を供給する揚水機などを管理する土地改良区等の運営に深刻な影響が続く中、施設の安定的な機能発揮や、地域農業の持続的な発展につなげるため、地域の実情に応じた電気料金高騰対策を実施した。 (9,264)
	農山漁村未来創造事業(再掲)	グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組を支援した。 (57,583)
	勝ち抜く！園芸産地強化事業	本県園芸産地の生産振興を図るため、主要品目ごとの栽培技術、出荷調整作業及び物流に係る課題解決のための取組の実施により、園芸産地リノベーションを推進し、園芸品目の生産拡大を図った。 (12,164)
	野菜経営安定対策事業	野菜生産者の経営に及ぼす影響を緩和するため、主要な野菜の価格が著しく低落した場合に、価格差補給金を交付する制度において、資金造成に要する経費の一部を支援した。 (149,151)
	施設園芸燃油等価格高騰緊急支援事業	ウクライナ危機をはじめとする世界情勢の変化を背景に燃油等の価格が高騰する中、施設園芸農業者の経営安定と産地の維持・発展を図るため、省エネ技術活用等に取り組み、燃油等価格の高騰に備える農業者を緊急的に支援した。 (23,150)
	農業用被覆資材価格高騰緊急支援事業	ウクライナ危機をはじめとする世界情勢の変化を背景に、農業生産資材の価格が高騰・高止まりしている中、県内農業者の経営安定及び産地の維持・発展を図るため、新たに、安定生産に欠かせない農業用被覆資材の価格高騰分について緊急的な支援を行った。 (91,940)
	施設園芸燃料価格高騰支援事業	世界情勢の変化を背景に燃料価格が高騰・高止まりする中、施設園芸農業者の経営安定と産地の維持・発展を図るため、省エネ技術活用等に取り組み、燃料価格の高騰に備える農業者に対し、園芸施設の加温に供するA重油、LPガス等の燃料購入費の一部を支援した。 (29,914)
(4) 畜産業の振興	手入れ砂活用社会実験事業	砂地畑農業の持続的な発展を図るため、航路の維持浚渫による発生土について、「手入れ砂」としての活用可能性に関する社会実験を行い、適性と環境への影響を評価した。 (15,647)
	農山漁村未来創造事業(再掲)	グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組を支援した。 (52,578)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	「とくしま三ツ星ビーフ」販路拡大強化事業	経済のグローバル化に対応し、畜産業の競争力強化を図るため、全国初となる「JGAP畜産」の認定取得を要件とした「とくしま三ツ星ビーフ」の国内外での販路拡大を強化した。 (5,775)
	「阿波とん豚」増産・流通システム確立事業	本県養豚産業の活性化を図るため、「阿波とん豚」の新たな優良遺伝子を活用した高能力繁殖母豚供給による増産体制の強化を行うとともに、「阿波とん豚」10周年記念キャンペーンの実施やラジオCM等によるPRを行い、阿波とん豚の消費拡大、流通促進及び知名度向上を図った。 (2,530)
	とくしまの酪農・乳用生産基盤事業	県民の需要に応じた牛乳・乳飲料の生産や、県産乳飲料の輸出に向けた体制整備のため、コロナ禍にも対応した生乳増産を担う人材育成の取組を支援した。 (6,424)
	「次代へつなぐ!とくしまの畜産」ブランド化推進事業	グローバル化の進展に備え、県内畜産のブランド化や規模拡大・経営転換を推進するため、経営診断や指導、助言を実施した。 (660)
	肉用牛肥育経営安定対策担い手支援事業	肉用牛肥育農家の経営安定を図るため、収益悪化時に補てん金を交付する制度において、生産者積立金の造成に係る負担額への助成等を行った。 (5,022)
	肉用子牛価格安定事業	肉用子牛生産農家の経営安定を図るため、肉用子牛価格の低落時に補給金を交付する制度において、生産者積立金の造成に係る負担額への助成を行った。 (2,415)
	養豚経営安定対策担い手支援事業	養豚農家の経営安定を図るため、収益悪化時に補てん金を交付する制度において、生産者積立金の造成に係る負担額への助成を行った。 (5,373)
	中規模酪農経営改善推進事業	中規模酪農家の収益力を強化するため、受精卵移植技術を活用した和子牛生産の定着と人工哺育・育成技術の高度化を図るとともに、牛群検定の普及を推進した。 (1,625)
	家畜改良総合対策推進事業	酪農家や肉用牛農家の経営安定を図るため、受精卵移植技術を活用した牛の育種改良を推進するとともに、関係機関が連携し、受精卵の生産から移植、産子登録まで一貫した支援を行った。 (2,671)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
(5) 林業・木材産業の振興	自給飼料増産推進指導費	自給飼料基盤に立脚した畜産経営の育成を図るため、自給飼料増産・新技術の普及等を通じて、自給飼料の増産を推進した。 (269)
	畜産バイオマス利活用推進事業	畜産経営における環境汚染の防止を図り、健全かつ安定的な畜産経営に資するため、総合的な指導を行った。 (522)
	畜産バイオマス利活用整備事業(食鳥副産物有効利用促進事業)	県内食鳥産業の振興と畜産環境の保全を図るため、県内で発生する食鳥副産物の適正処理・再資源化について支援した。 (16,194)
	配合飼料価格高騰緊急対策事業	世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、配合飼料価格の高騰が続き、畜産経営者の負担が増加していることから、畜産経営の安定化とともに、持続可能な畜産業の実現を推進するため、畜産経営者を緊急的に支援した。 (21,178)
	阿波尾鶏生産・供給拡大事業	大阪・関西万博を見据えた「阿波尾鶏」の生産・供給体制の強化を図るため、DXによる環境制御型の新たな「原種鶏・種鶏」の鶏舎整備を支援した。 (100,000)
	持続可能な県産牛乳生産・供給事業	ウクライナ情勢や円安の長期化に伴う粗飼料価格の高止まりにより、酪農経営が悪化していることから、持続可能な経営を実現するため、新たに、生乳生産体制の維持等に取り組む酪農家を緊急的に支援した。 (45,512)
	畜産経営強化GX推進事業	ウクライナ情勢や円安の長期化に伴う配合飼料価格の高止まりにより、畜産経営が悪化していることから、国産飼料の利用増加によるGXの推進や付加価値の高い品種の導入など、積極的な経営強化等に取り組む畜産農家を緊急的に支援した。 (205,877)
	農山漁村未来創造事業(再掲)	グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組を支援した。 (17,500)
林業機械サポートセンター事業	県産材の増産を担う新たな人材の確保・育成を図るため、独立・起業や経営拡大を目指す林業事業体に対し、リースやレンタル方式による高性能林業機械の導入を支援した。 (14,009)	
森林・林業グリーン成長推進事業	カーボンニュートラルに寄与する「グリーン成長」の実現を図るため、主伐を見据えた高性能林業機械の導入や効率性の高い作業路網の整備を進め、県産材の増産体制を構築した。 (325,840)	

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	徳島木のおもちゃ美術館 管理運営費	木育拠点である「徳島木のおもちゃ美術館」について、指定管理者の管理・運営により、木育活動を推進した。 (72,402)
	県産木材競争力強化対策 事業	国産材回帰に向けて、品質の確かな県産材製品を安定的に供給するため、木材加工施設の整備や製材工場の連携による出荷体制の整備を支援した。 (801,777)
	乾燥材供給体制整備事業	構造材の品質確保に向けて、人工乾燥機の導入支援と乾燥技術の研修会を実施した。 (28,854)
	木造建築活性化事業	県産材の更なる消費拡大を図るため、展示効果の高い建築物の内装木質化に対する支援、及び木材利用に秀でた建築士の育成、木造建築物の長寿命化に繋がる塗装による木材の耐久性の検証を行った。 (5,625)
	県産木材レガシー継承事 業	東京オリ・パラでの取組を継承し、さらなる県産木材需要に繋げるため、国内外の「大阪・関西万博」出展企業と県内企業とのマッチングや大都市圏での展示商談会への出展などにより徳島すぎブランドの認知度を高め、新たな万博需要の喚起や販路開拓・需要拡大を図った。 (5,434)
	しいたけ燃油高騰対策支 援事業	ウクライナ情勢や円安の長期化に伴い、燃油価格が高騰する中、国のセーフティネット制度がない、しいたけ生産事業者の経営安定と事業継続を図るため、省エネに取り組む事業者等に対し、燃油価格高騰分に対する緊急的な支援を行った。 (17,906)
	県産材販売力強化事業	大都市圏での県産材需要創出を図るため、首都圏における県関連施設の木質化に取り組み、県産材のPRに取り組んだ。 (2,915)
	県産材市場サプライ チェーン強化事業	川上から川下までのサプライチェーンを構築し、森林資源の循環利用を進めるため、建築士など川下の建築事業者が徳島すぎを建築用材として使いやすくするため、強度データ等を整備し、オープンデータ化に取り組んだ。 (3,829)
(6) 水産業の振興	農山漁村未来創造事業 (再掲)	グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組を支援した。 (3,584)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	資源管理型漁業推進事業	水産資源の保全と漁業経営の安定を両立させる資源管理型漁業を推進するため、漁獲情報の収集や資源動向調査等を実施するとともに「資源管理協定」の作成指導及び認定を行った。 (627)
	種苗生産施設管理費	放流種苗を計画的に生産・確保するため、種苗生産施設の運営、管理を行った。 (138,788)
	浅海内水面増殖対策費	河川における重要魚種であるアユの資源の維持・増大を図るため、漁業者が行う種苗放流に対し支援を行った。また、カワウによるアユなどの水産上重要な魚種に対する被害を防止するため、漁業者等が行う防除対策の取組を支援した。 (3,047)
	とくしまの活鱧ブランド力向上事業	県産ハモの認知度向上を図るため、生産から流通・販売に至る事業者等との連携による「徳島の活鱧料理味わいキャンペーン」を展開するとともに、調理師学校において、「徳島の活鱧講座」などを実施した。 (2,000)
	鳴門わかめブランド力強化事業	鳴門わかめの産地偽装の再発防止とブランド力強化のため、加工段階における産地判別検査の強化や県内外における「鳴門わかめ認証制度」のPR等を実施した。 (1,081)
	気候変動適応型藻類養殖推進事業	貧栄養化が進む海域における持続可能な藻類養殖業の実現を図るため、海水中に人工的に栄養を供給する「施肥」の実証試験を実施し、効果的な施肥技術の改良に取り組んだ。 (3,110)
	漁業用燃油価格高騰緊急対策事業	漁業者の負担を軽減し、漁船漁業における事業の継続を図るため、「漁業経営セーフティネット構築事業」に加入し、燃油高騰に備える漁業者を緊急的に支援した。 (949)
	養殖業の成長産業化推進事業	県内の山間部で養殖される「アメゴ」を海面で生食可能なサイズに育成した「サツキマス」について、今後の生産や販売戦略にフィードバックするため、養殖業者と連携し、県内外の観光客等を対象に試食会を行った。 (159)
	純徳島県産「養殖サツキマス」創出事業	アメゴ養殖業者やブリ・マダイ養殖業者と連携し、採卵から出荷まで、全ての過程を県内で完結させる「サツキマス養殖体制」の構築に向け「効率的な海水馴致方法」や「適正な養殖密度」等を探る海面養殖試験を行った。 (4,718)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
3 「スマート農林水産業」の実装と労働力確保	(1) スマート農林水産業の実装	漁海況予測高度化事業 操業の効率化・省力化や資源管理につなげるため、AIを活用し、漁況と海況の関係を総合的に解析できるシステムを構築することでベテラン漁業者の「匠の技」を誰もが共有できるスマート漁業の推進を図った。 (3,290)
		生産性革命を実現する徳島スマート農林水産業推進事業 作業の省力化や生産性の飛躍的な向上を図るため、IoT・AI等の先端技術を活用した新技術の開発を行うとともに、地域資源を活用した高付加価値化のための技術開発や新産業の創出に取り組んだ。 (12,741)
		気候変動に打ち克つ農林水産適応技術開発プロジェクト 地球温暖化をはじめ気候変動に適応し、競争力のある農林水産業の実現を図るため、気候変動による影響を回避・軽減する新品种・新技術の開発や、温暖化を効果的に活用した農産物のブランド創出に取り組んだ。 (13,297)
		農林水産物の増産や販売力強化を支える研究開発事業 農林水産業の成長産業化を技術面から支えるため、生産現場の課題やニーズを的確に把握し、新たな技術や品種の開発を行った。 (10,727)
		現場課題トータルサポート実装促進事業 多様化・高度化する生産現場の課題に対応するため、産学官連携により、現場ニーズに即した円滑な技術開発を行うとともに、技術の普及を推進するための現場実証を実施した。 (4,183)
	(2) 農業・畜産業の多様な人材育成・確保	女性が変える未来の農山漁村づくり事業 次代を担う女性農業者の活躍促進やスキルアップを図るため、農業女子会を開催するとともに、女性が取り組む新たな農業ビジネスへのチャレンジを支援した。 (1,321)
		農業経営者サポート事業 新規就農者や雇用就農者の定着促進、円滑な経営継承等の多様な経営課題に対応するため、経営診断・労務管理などの専門家派遣や、普及指導員の巡回指導を通じ、個別経営改善や農業経営の法人化による農業経営の持続・発展を支援した。 (5,989)
		農村青少年活動促進事業 農業への理解や就農への意欲を高め、地域農業の担い手としての資質向上を図るため、高校生を対象とした農業分野での人材育成のためのイベントを開催するとともに、農村青少年グループの活動を支援した。 (871)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	農業の多様な働き方支援事業	新たな労働力として期待される外国人材や障がい者等の活躍を促進するため、専門家による「農業担い手コンシェルジュ」を配置し、雇用・労務等の相談に対応するとともに、多様な担い手の更なる確保に向け、外国人材の活用や農福連携の推進に向けた研修会等を実施した。また、高校生や大学生を対象に農業現場でのインターンシップを実施した。 (3,785)
	新規就農者育成総合対策事業	次代を担う農業者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修を後押しする資金及び就農直後の経営確立を支援する資金を交付した。また、新規就農者の機械・施設等導入の支援を行った。 (335,686)
	次代を担う農業人材・経営体育成事業	就農希望者の円滑な就農を図り、次代の担い手として育成・確保するため、農業法人等が実施する実践的な技術研修を支援した。 (11,354)
	アグリビジネスアカデミー運営費	農業のスマート化に対応できる人材を育成するため、就農を予定している社会人や生産技術の高みを目指す農業者を対象に「徳島かんきつアカデミー」や「施設園芸アカデミー」などを開講し、農業生産技術の基礎から実践に至る幅広い研修を実施した。 (9,682)
	「農作業シェア」で健康増進！労働力支援モデル創出事業	アクティブシニアや「Wワーク」に興味のある方を農業へ誘導し、新たな労働力の確保につなげるため、シルバー人材センターと連携したアクティブシニア世代の農作業体験会の実施や、本業の合間に農作業に従事する「アグリワーケーション」の実施体制の構築及び課題整理を行った。 (6,585)
	次代へ繋ぐ徳島かんきつ丸ごと体験事業(再掲)	かんきつ人材の育成・にぎわい交流拠点である「かんきつテラス徳島」の更なる農村地域の活性化を図るため、大学のゼミ合宿やフィールドワークでの利用を推進するとともに、小中高等学校等へかんきつ類の知識等を深める体験会を実施することで、未来の担い手育成に取り組んだ。 (1,759)
(3) 林業・木材産業の多様な人材育成・確保	とくしま林業アカデミー運営支援事業	新たな林業の担い手を確保するため、「とくしま林業アカデミー」の運営を支援するとともに、県内高校生等への啓発活動やUIJターンによる人材確保を行った。 (51,500)
	森林サイクル担い手確保事業	県内の森林を健全な状態に保つため、学生から元気なシニアまで幅広い方を対象に造林の担い手となってもらうための育成・実践研修を実施した。 (2,915)
	林業起業支援バックアップ事業	林業の起業予定者や起業間もない者等の育成を図るため、起業支援、雇用管理等に関する研修を実施するとともに、専門的知識や手続のサポート、経営診断等を実施した。 (2,486)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果	
4 「サステイナブル (持続可能)」な 農林水産業の実現	とくしま林業リカレント 支援事業	若手就業者と熟練者の世代交代をスムーズに進めるにあたり、早急にスキルアップを図る必要があるため、就業者を対象に、素材生産に必要な技術の習得を段階的に進め、高度な技術者の育成・増加を図った。 (8,933)	
	県産木材競争力強化対策 事業	充実した森林資源を活用しサプライチェーンの構築を図るため川中における人材を確保するための現場見学会の開催と、木材産業事業者を対象とした研修会を実施し、安定的な稼働に向けた人材の育成に取り組んだ。 (3,905)	
	徳島林業・木材産業D X センター開設事業	小・中・高・大学生の「職業としての林業」を意識付けるため、「フォレストキャンパス」を活用して、出前授業や林業体験を実施した。 (2,484)	
	林業人材D Xセンター推 進事業	令和6年4月に三好市が開校する「三好林業アカデミー」をはじめ県内林業関連施設との連携による人材育成と労働安全対策を加速するため、デジタル技術の研修拠点である「林業人材D Xセンター」の機能強化を図った。 (9,063)	
	(4) 水産業の多様な 人材育成・確保	とくしま漁業アカデミー 運営事業	浜を支える意欲ある担い手を育成・確保するため、誰もが漁業を学べる「とくしま漁業アカデミー」の運営を支援した。 (18,446)
	とくしま漁業アカデミー 活性化支援事業	漁業の担い手確保を図るため、漁家子弟の研修生の生活を支援する本県独自の給付金を交付した。 (3,172)	
	人づくり革命・漁業リカ レント事業	「とくしま漁業アカデミー」卒業生の早期独立を促すアフターフォローや就業間もない青年漁業者の経営安定に向けた「資材購入費」等の支援を行うとともに、新規就業者からベテラン漁業者まで、就業段階に応じた研修を実施した。 (6,453)	
	(1) 地球温暖化対策 (適応・緩和)	徳島森林づくり魅力発信 事業	森づくりの魅力を広く発信するため、カーボン・オフセットの仕組みを森づくりの分野に導入し、企業や県民等からの寄付金を活用し、植林や間伐等の森林整備を実施する「とくしま協働の森づくり事業」を推進した。 (4,976)
	森林環境保全整備事業 (再掲)	森林の持つ多面的機能の維持・増進や、生物多様性の保全を図るため、施業の集約化や路網整備などによる低コスト化を進めつつ、計画的な森林整備を実施した。 (1,113,774)	

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	新世代種苗生産推進事業	採種圃の改良を行い、遺伝的性質の優れた林業用種苗を供給し、林業の生産性の向上と健全な森林の造成に努めた。 (12,284)
	気候変動適応型藻類養殖推進事業(再掲)	貧栄養化が進む海域における持続可能な藻類養殖業の実現を図るため、海水中に人工的に栄養を供給する「施肥」の実証試験を実施し、効果的な施肥技術の改良に取り組んだ。 (3,110)
	気候変動に打ち克つ農林水産適応技術開発プロジェクト(再掲)	地球温暖化をはじめ気候変動に適応し、競争力のある農林水産業の実現を図るため、気候変動による影響を回避・軽減する新品種・新技術の開発や、温暖化を効果的に活用した農産物のブランド創出に取り組んだ。 (13,297)
	環境保全型農業支払事業	農業の持続的な発展と農業の有する多面的機能の発揮を図るため、農業生産に由来する環境負荷を軽減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動を支援した。 (15,339)
	使用済農業資材適正処理対策事業	使用済農業生産資材の適正な処理を推進するため、県農業用廃プラスチック協議会の運営支援を行い、効率的な回収、処理体制の確立を図るとともに、排出農業者への意識啓発を行った。 (905)
	施設園芸燃油等価格高騰緊急支援事業(再掲)	ウクライナ危機をはじめとする世界情勢の変化を背景に、燃油等の価格が高騰する中、施設園芸農業者の経営安定と産地の維持・発展を図るため、省エネ技術活用等に取り組み、燃油等価格の高騰に備える農業者を緊急的に支援した。 (23,150)
	施設園芸燃料価格高騰支援事業(再掲)	世界情勢の変化を背景に燃料価格が高騰・高止まりする中、施設園芸農業者の経営安定と産地の維持・発展を図るため、省エネ技術活用等に取り組み、燃料価格の高騰に備える農業者に対し、園芸施設の加温に供するA重油、LPガス等の燃料購入費の一部を支援した。 (29,914)
	老朽ため池等整備事業(再掲)	農地及び農業用施設に係る災害の発生を未然に防止するため、老朽化した農業用ため池等の整備を実施した。 (711,628)
	耕地地すべり防止事業(再掲)	農林水産省農村振興局所管の地すべり防止区域における地すべり被害を防止・軽減するため、各種の地すべり対策工事を実施した。 (562,128)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
(2) 鳥獣による被害の防止	漁港海岸保全施設整備事業（再掲）	漁港海岸における「地震・津波」対策として、地域住民の生命を守るため「避難時間の確保」に必要な海岸保全施設の整備に着手するとともに、「老朽化」対策として護岸修繕工事を行った。 (203,483)
	治山事業（再掲）	中山間地域の生活環境の保全を図るため、山地に起因する災害の早期復旧や未然防止を目的とした対策を計画的に実施するとともに、荒廃森林（保安林）の機能回復・強化を目的とした森林整備を実施した。 (2,648,974)
	林野地すべり防止事業（再掲）	林野庁所管の地すべり防止区域における地すべり被害を防止・軽減するため、各種の地すべり対策工事を実施した。 (354,219)
	県単独治山事業（再掲）	住民の生命・財産を守るため、国庫補助の対象とならない小規模な荒廃森林の復旧整備工事を実施した。 (73,968)
	治山流木緊急対策事業（再掲）	流木による被害拡大を防止するため、人家等重要な保全対象の上流にある溪流内の不安定な樹木の除去を行った。 (10,783)
	国庫補助関連事業（再掲）	治山施設の長寿命化対策として、国庫補助の対象とならない小規模な機能強化工事を実施した。 (51,698)
	治山緊急浚渫事業（再掲）	治山ダムに異常堆積した不安定土砂が、下流の保全対象に被害を及ぼすおそれがあるため、緊急的に土砂の除去を実施した。 (8,079)
	鳥獣被害に打ち勝つ「被害防止対策」の展開	鳥獣被害を防止するため、市町村等が行う有害鳥獣捕獲や侵入防止柵の整備等への支援や地域において被害防止対策の核となる「地域リーダー」の育成を行った。 (195,157)
	「阿波地美栄」魅力発信・消費拡大パワーアップ事業	安全で高品質な徳島のジビエ「阿波地美栄」を貴重な資源として地域の活性化に繋げるため、県内外における認知度向上・消費拡大に向けた取組を推進した。 (8,071)
	「猪・鹿・猿 調査分析・集中捕獲」事業	イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルによる農林業被害、人身被害などの軽減を図るため、剣山や三嶺及び県境付近での集中捕獲や、ニホンザルの生息状況の調査などを実施した。 (29,587)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果	
(3) 食育・木育と地産地消の推進	IOT「猪・鹿・猿」見える化事業	鳥獣被害防止対策の強化を図るため、県民が投稿したイノシシ・シカ・サルを目撃情報を集約し、「見える化」する専用webサイトを構築するとともに、都市部の住宅地等へ接近するイノシシ等をセンサーカメラで判別・通報する、新たな「出没通報システム」の実証を実施した。	(5,000)
	「とくしま狩猟マイスター」への道プロジェクト事業	次世代の狩猟者を育成・確保するため、新たに狩猟免許を取得する者や狩猟免許所持者を対象に、狩猟の知識や実践的な捕獲技術に関する講座を実施した。	(6,009)
	指定管理鳥獣捕獲等事業	指定管理鳥獣（ニホンジカ・イノシシ）による農林業等への被害を防止するため、認定鳥獣捕獲事業者による捕獲を実施した。	(114,013)
	狩猟者育成確保対策事業	狩猟者による事故を防止するため、安全狩猟に関する技術講習会の開催や普及啓発活動を実施した。	(1,599)
	活かせ多様な人材！鳥獣捕獲強化事業	境界付近や複数市町村にまたがる地域での捕獲体制を強化するため、市町村と連携し、野生鳥獣の生息状況調査や効率的な捕獲に向けたIoT技術の導入、広域捕獲人材の育成等に取り組んだ。	(18,170)
	オーガニックエコ食育活動推進事業	持続性の高い農業を支える消費者育成を推進するため、県産野菜等を使った料理レシピコンクールの開催や有機農業等エシカル農業に関する情報発信を行った。	(2,857)
	地域での食育の推進事業	高校生が企画する郷土料理教室や本県の豊かな農産物を「見て、触れて、知る」を創出する農作業体験ツアー、子ども食堂での食育活動等を実施した。	(16,705)
	徳島木のおもちゃ美術館管理運営費（再掲）	木育拠点である「徳島木のおもちゃ美術館」について、指定管理者の管理・運営により、木育活動を推進した。	(72,402)
(4) 地域で育む農山漁村づくり	木づかい県民運動定着促進事業	木育から県産材の更なる利用拡大につなげるため、徳島木のおもちゃ美術館を活用して、市町職員等を対象にした木づかいに関する研修会の開催と、木づかい県民会議による「木づかいフェア」の開催、県産材製品の開発等を支援した。	(6,899)
	中山間地域等直接支払事業	中山間地域において農業生産活動の継続を図るため、平坦地域との生産条件の格差を是正し、農用地の維持・保全活動を支援した。	(246,287)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
(5) 安全・安心な食料の安定的供給	多面的機能支払交付金事業	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者等が行う水路・農道等の農業生産資源の基礎的保全活動や農村環境の保全、農業用施設の長寿命化のための活動を支援した。 (472,343)
	中山間地域農村活性化総合整備事業	農業の生産条件等が不利な中山間地域において、農作業の省力化や生活環境の改善を図るため、農業用排水、農道など生産基盤の整備、また、集落道、営農飲雑用水の生活環境基盤整備を総合的に実施した。 (331,764)
	集落基盤整備事業	農業振興地域において、農業生産性の向上を図るため、土地改良区が実施する農業用排水施設整備を支援した。 (30,997)
	未来へ「つなぐ！」農山漁村（ふるさと）元気づくり事業（再掲）	農山漁村地域が持つ魅力や価値の向上を図り、関係人口を拡大することで、元気な農山漁村地域を実現するため、企業・大学等との協働活動を促進するとともに、農地等の保全、農山漁村地域の活性化や棚田地域における棚田の保全・活用の取組等を支援した。 (11,320)
	地域で「支え合う！」農村RMOモデル形成支援事業	高齢化や人口減少が進行する中山間地域において、地域の活性化や集落機能の維持・発揮に向けた活動を行う農村型地域運営組織（農村RMO）の形成を推進するため、必要となるデジタル技術の導入や農用地保全、地域資源活用及び生活支援の取組に関する調査・計画・実証を一体的に支援した。 (18,300)
	森林基盤整備事業（再掲）	森林の適正管理・林業の生産性の向上を図るため、林道・林業専用道の整備を推進するとともに、災害時における緊急輸送路を補完する機能を併せ持つ林道の整備を推進した。また、林道利用者のニーズに対応するため、「とくしま林道ナビ」の掲載情報の充実を図った。 (2,518,621)
	とくしまエシカル農産物GAP等ステップアップ支援事業	エシカル農産物の需要に対応できる産地づくりを推進するため、生産者の国際水準GAP認証取得へのステップアップや有機JAS認証取得を支援した。 (9,002)
	有機農業等産地拡大加速化事業	食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を目指す「みどりの食料システム戦略」の実現に向け、市町村が主体となった有機農業の生産から消費まで一貫した地域ぐるみの取組を支援することにより、有機農業の産地づくりを推進した。 (9,147)
とくしまグリーン栽培転換対策事業	「みどりの食料システム戦略」の実現に向け、それぞれの産地に適した「環境にやさしい栽培技術」と「省力化技術」を検証し、定着を図る取組を支援した。 (6,258)	

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	環境保全型農業支払事業 (再掲)	農業の持続的な発展と農業の有する多面的機能の発揮を図るため、農業生産に由来する環境負荷を軽減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動を支援した。 (15,339)
	病害虫総合防除推進事業	農薬の適正使用を推進するため、農薬及びその取扱いに関する正しい知識の普及・啓発を行うとともに、化学農薬のみに依存しない総合的病害虫雑草管理 (I P M) 技術を推進し、農業生産の安定化と環境負荷低減を図った。 (17,657)
	肥料価格高騰緊急対策事業	ウクライナ危機をはじめとする世界情勢の変化を背景に、肥料価格が高騰する中、化学肥料の使用量低減に取り組む農業者に対し、肥料コスト上昇分を緊急的に支援することにより、経営への影響を緩和し、化学肥料低減による持続可能な営農を推進した。 (70,673)
	農林水産業における環境負荷軽減技術開発事業	環境負荷の少ない持続可能な農林水産業を推進するため、化学農薬・肥料の使用量削減及び農林水産業における温室効果ガスの排出抑制による、環境負荷軽減につながる技術を開発した。 (6,829)
	持続可能な農業づくり対策事業	土壌分析や肥料の品質の確保等に関する法律等の適切な運用を通じて、有機質資源の循環利用を基本とした土づくりと、化学肥料や化学農薬の使用量を低減した環境負荷低減に資する取組を推進した。 (1,457)
	農作業安全確保加速化事業	担い手の確保と生産力強化を図るため、新機能を有した農業用機械等の技術普及と農作業安全運動の強化に取り組むことで、農業者の適切なリスクマネジメントの実践を支援した。 (1,240)
	農林水産団体検査費	農林水産関係団体の経営面及び運営面について関係法令に基づき検査を実施し、経営及び運営の健全化を図った。 (2,120)

Ⅲ 歳入歳出決算額
 1 一般会計決算額
 (1) 歳入決算額

(単位:円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
農 林 水 産 政 策 課	723,025,000	587,919,586	587,919,586	0	0	△ 135,105,414
み ど り 戦 略 推 進 課	871,047,000	355,761,672	355,761,672	0	0	△ 515,285,328
とくしまブランド推進課	527,999,000	427,972,895	427,972,895	0	0	△ 100,026,105
鳥 獣 対 策 ・ 里 山 振 興 課	536,800,000	495,851,869	495,851,869	0	0	△ 40,948,131
畜 産 振 興 課	1,323,194,658	452,052,054	452,052,054	0	0	△ 871,142,604
林 業 振 興 課	6,714,016,000	5,008,998,342	5,008,998,342	0	0	△ 1,705,017,658
水 産 振 興 課	166,519,000	74,159,308	74,159,308	0	0	△ 92,359,692
漁 業 管 理 調 整 課	12,727,000	12,513,880	12,513,880	0	0	△ 213,120
農 林 水 産 総 合 技 術 支 援 セ ン タ ー	1,039,562,000	947,382,756	947,382,756	0	0	△ 92,179,244
農 山 漁 村 振 興 課	2,220,832,000	1,840,357,418	1,840,357,418	0	0	△ 380,474,582
生 産 基 盤 課	8,059,846,212	5,213,670,309	5,213,662,394	7,915	0	△ 2,846,183,818
森 林 土 木 ・ 保 全 課	5,720,894,000	3,724,020,342	3,720,965,342	0	3,055,000	△ 1,999,928,658
計	27,916,461,870	19,140,660,431	19,137,597,516	7,915	3,055,000	△ 8,778,864,354

(2)歳出決算額

(単位:円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
農 林 水 産 政 策 課	1,282,641,322	1,126,209,446	61,000,000	95,431,876	156,431,876
み どり 戦 略 推 進 課	1,148,890,678	783,908,571	55,000,000	309,982,107	364,982,107
とくしまブランド推進課	805,748,000	618,610,862	160,000,000	27,137,138	187,137,138
鳥 獣 対 策 ・ 里 山 振 興 課	780,524,000	730,137,409	0	50,386,591	50,386,591
畜 産 振 興 課	2,312,272,558	1,106,681,432	937,540,702	268,050,424	1,205,591,126
林 業 振 興 課	8,494,043,000	6,125,562,693	1,854,855,000	513,625,307	2,368,480,307
水 産 振 興 課	534,014,000	412,066,767	61,059,932	60,887,301	121,947,233
漁 業 管 理 調 整 課	332,950,000	322,736,026	0	10,213,974	10,213,974
農 林 水 産 総 合 技 術 支 援 セ ン タ ー	3,630,566,000	3,235,428,920	147,027,500	248,109,580	395,137,080
農 山 漁 村 振 興 課	2,933,812,372	2,271,180,007	648,552,998	14,079,367	662,632,365
生 産 基 盤 課	14,572,200,404	9,580,782,105	4,666,510,270	324,908,029	4,991,418,299
森 林 土 木 ・ 保 全 課	10,049,736,000	6,412,436,944	3,596,323,000	40,976,056	3,637,299,056
計	46,877,398,334	32,725,741,182	12,187,869,402	1,963,787,750	14,151,657,152

2 特別会計決算額

(1)歳入決算額

(単位:円)

区 分	会 計 名	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
農 林 水 産 政 策 課	農業改良資金貸付金 特 別 会 計	312,000	24,520,125	11,201,111	0	13,319,014	10,889,111
	林業改善資金貸付金 特 別 会 計	168,598,000	278,263,667	273,896,265	0	4,367,402	105,298,265
	沿岸漁業改善資金 貸付金特別会計	166,000	312,216,706	312,216,706	0	0	312,050,706
	計	169,076,000	615,000,498	597,314,082	0	17,686,416	428,238,082
林 業 振 興 課	県有林県行造林事業 特 別 会 計	180,338,000	158,880,730	158,880,730	0	0	△ 21,457,270
	港湾等整備事業 特 別 会 計	0	929,216	929,216	0	0	929,216
	計	180,338,000	159,809,946	159,809,946	0	0	△ 20,528,054
合 計		349,414,000	774,810,444	757,124,028	0	17,686,416	407,710,028

(2)歳出決算額

(単位:円)

区 分	会 計 名	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
農 林 水 産 政 策 課	農 業 改 良 資 金 貸 付 金 特 別 会 計	312,000	310,999	0	1,001	1,001
	林 業 改 善 資 金 貸 付 金 特 別 会 計	168,598,000	158,237,715	0	10,360,285	10,360,285
	沿 岸 漁 業 改 善 資 金 貸 付 金 特 別 会 計	166,000	19,431	0	146,569	146,569
	計	169,076,000	158,568,145	0	10,507,855	10,507,855
林 業 振 興 課	県 有 林 県 行 造 林 事 業 特 別 会 計	180,088,000	158,195,428	0	21,892,572	21,892,572
	港 湾 等 整 備 事 業 特 別 会 計	0	0	0	0	0
	計	180,088,000	158,195,428	0	21,892,572	21,892,572
合 計		349,164,000	316,763,573	0	32,400,427	32,400,427